

「全鍍連」 2023年 3月号 組合員の広場

埼玉県鍍金工業組合

饗場 功治 (株)潮工業 代表取締役社長)

「仲間との出会い・存在は、嬉しさ・楽しさを倍増させる心の充実がある」

前期より、埼玉組合では伊藤麻美理事長が就任されたことを機に、僭越ながら専務理事の重責を担い現在まで不祥事も無く？ 過ごすことができております。コロナ禍で対面活動ができない中、この様な時の組合活動って何だろう？ と理事長を筆頭に仲間との情報交換をできる術を考える期間となりました。あたりまえの日々を急に変える事は難しいですが、変えなければならないと思うことで収穫もあった時期だったと振り返るこの頃です。

個人的な日々を振り返ると、ヘタながらも 20 年ゴルフを続けていますが、辞めない理由は様々な年代の仲間と知り合うきっかけになり、無駄話をしながら 1 日を過ごせる以外に理由はありません。まともに動かないながらも古い車を 30 年持っていますが、走るにせよ修理をするにせよ、そこで知り合える様々な経歴・職種の仲間の存在はとても大きくて仲間との別れが惜しくて車を手放さずにいます。息子が小学生の頃より特殊な魚類活動をしています、そこでの仲間は大学教授・研究者・漁師・芸術家などの大人から地方の小学生まで幅広く、出会うことはなかった人々と知り合うことで新たな刺激を得られています。

鍍金業界に外から入った者として、組合の先輩方から本当に助けていただきました。特に青年部の仲間は、持っている知識や経験を惜しむことなく全てを未経験の私に伝え学ばせてくれたおかげがあり鍍金業界で生きるベースが得られました。埼玉組合の活動をするようになり先輩方のご助言が私を経営者として成長させてくださいました。この機会に 20 年以上に渡りお支え頂いた方々に深く感謝申し上げます。

昨今、「心のケア」が社会問題となっています。個人主義やら個の尊重やらと言葉だけが独り歩きをし、人との付き合いを避ける傾向に拍車がかかっている気がします。現代は小さい子供から Youtube などのネット配信を視聴することでテレビを中心に家族が集まる時間さえ少なくなっていると聞きます。(チャンネル争いに負けて、兄姉の見たい番組を見るのも良い経験だったよなあ～) 人と関わる趣味や経験をせずにスマホとばかり遊んでいないで、貴重な仲間との出会いで心の充実を得てほしいです。ひとつだけ付け加えると、友達ってリアルに会って仲良くなった人を指すと考えています。SNS やメタバースなどで知り合った相手を友達・仲間ということに物凄く違和感を感じているひとりです。

